



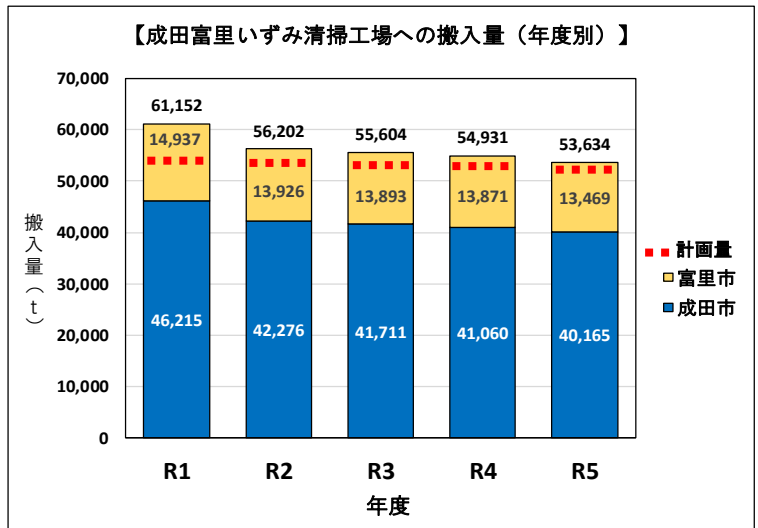
成田市のごみの状況について

○成田富里いずみ清掃工場の現状

成田富里いずみ清掃工場では、成田市と富里市から排出される可燃ごみを、高温で溶かして処理しています。

令和5年度のごみ搬入量は5万3千トン以上でした。減少傾向にはあるものの依然として建設時の計画量を上回っています。

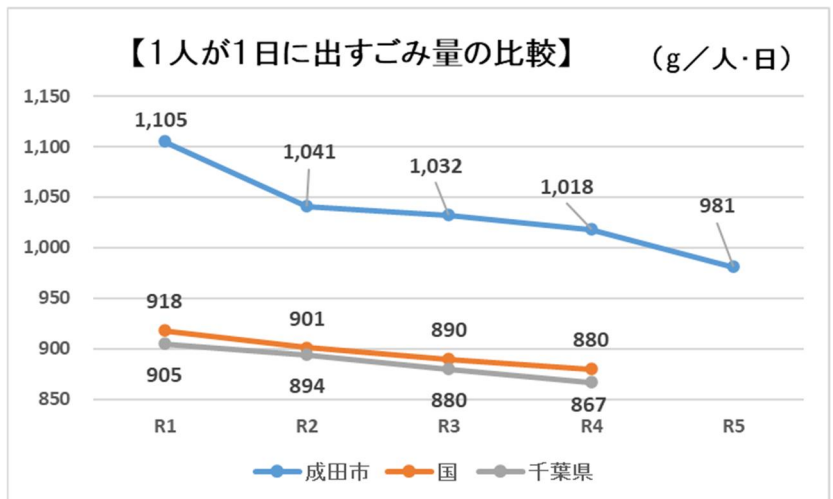
成田市ではごみの減量化を推進すべく、適正な分別に取り組んでいます。



○全国・千葉県との比較

令和5年度に成田市内から出たごみの総量を市民1人1日あたりに換算すると約981gでした。

令和元年度からの推移をみると、ゆるやかな減少傾向にありますが、全国や千葉県全体の平均値と比較すると、成田市は依然として高い値となっています。



※R5年度の国および千葉県のデータは、現時点(R6.11.18)で未発表のため、掲載しておりません。

成田市の1日1人あたりのごみの量は千葉県全体(R4)と比べておにぎり約1個分多くなっています(約110g)



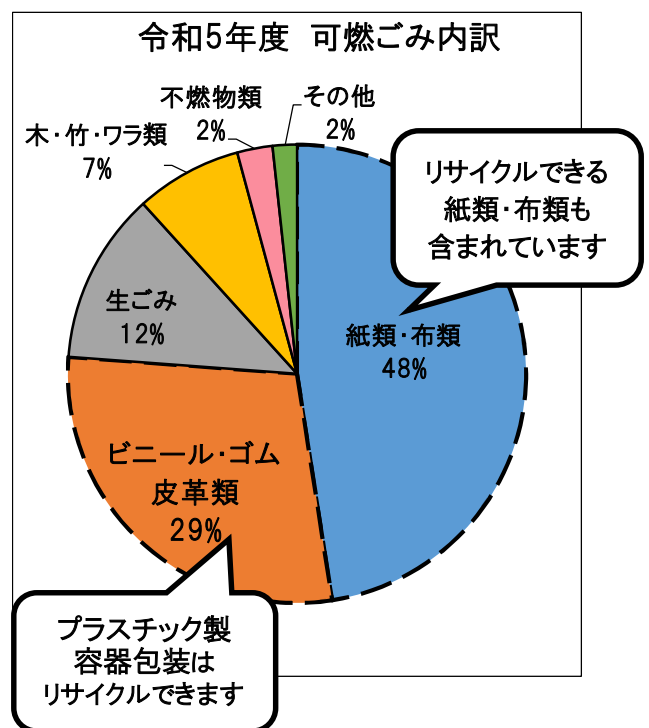
○可燃ごみの内訳

右の円グラフは、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。(事業系ごみ含む)

全体の約半分を占める紙類・布類の中には、リサイクルできる古紙や古着が多く含まれています。

また、3割程度を占めるビニール類にも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。つまり、多くの資源物がリサイクルされずにごみとして処理されてしまっているため、適正な分別を徹底すれば、可燃ごみの量を大きく減らすことができます。

ごみの減量化・資源化促進のため、市民の皆様1人ひとりが成田市の分別ルールを守っていただくことが大切となりますので、今後ともご協力をお願いします。



プラスチック製容器包装を正しく分別しよう！

💡 プラスチック製容器包装の分別フローチャート

Q プラマーク（）は付いていますか？

はい ↓

いいえ

可燃ごみ（青色の指定袋）で出してください

Q 水で軽くすすいで汚れが落ちますか？

はい ↓

いいえ

……… > ★ 分別のポイント①・②

プラスチック製容器包装（白色の指定袋）で出してください …… > ★ 分別のポイント③・④

★ 分別のポイント①

素材で判断するのではなく、プラマーク（）の有無で判断します

プラスチック製容器包装は、
中身の商品を使ったら不要になる

プラスチック製の入れもの（容器）または包み（包装）



卵パック



CD ケース



お菓子の袋



牛乳パック

開いてヒモで
十文字にしばり
紙類の日に出してね

→ バケツやハンガーなどのプラスチック製品は、容器でも包装でもないので対象ではありません。

★ 分別のポイント②

水で軽くすすいでも汚れが落ちないものは可燃ごみとして処理します

中身が残っているもの

水で軽くすすいでも
汚れが落ちないもの

べたつきが
残っているもの



マヨネーズの容器や
歯磨き粉のチューブ等



納豆のパックや
レトルト食品のパウチ等



整髪料や
油の容器等

➡ 可燃ごみ（青色の指定袋）で出してください



こういったものを入れてしまうと、リサイクルする過程で
他のきれいに分別されたプラスチック製容器包装を汚してしまいます。

ひと手間で
もっとリサイクル

納豆のパックやケチャップの容器などは、食器洗いの残り水をしばらく浸しておいたり、中に水を入れて振ったりすると、汚れが簡単に落ちます。

ひと手間を加えて汚れが落ちたものは、可燃ごみではなくプラスチック製容器包装として出すことができ、貴重な資源としてリサイクルされます。

★分別のポイント③

二重袋はやめましょう

処理施設では、機械で指定袋を破り、手作業で異物や汚れてリサイクルできないものを選別しています。

プラスチック製容器包装をレジ袋などに入れてからその袋を指定袋に入れて出すと選別作業の妨げになります。

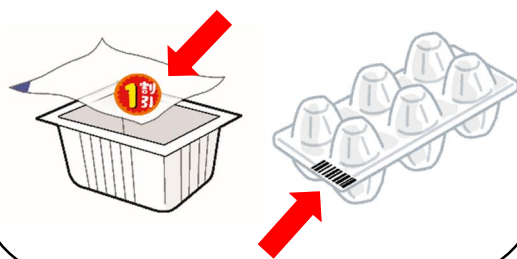
プラスチック製容器包装は、直接指定袋に入れてください。



★分別のポイント④

紙製シールは全部 はがしきれなくても大丈夫

プラスチック製容器包装に付いている値札やバーコードなどの紙製シールは、簡単にはがせる場合ははがし、はがすのが難しい場合はそのまま指定袋に入れてください。



危険なものを

混ぜないで。うな。



乾電池・リチウムイオン電池・ライターなど



収集車やリサイクル工場の中で発火したり爆発したりする危険があります。

※使用済みのリチウムイオン電池はお近くの回収協力店へお持ちください。

回収協力店の検索はこちらから（一般社団法人 JBRC）

※乾電池は有害ごみ、使い切ったライターは

金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。



JBRC 協力店



カミソリ・注射器など



作業員がケガをしたり、感染症に感染したりする危険があります。

※カミソリなどの刃物は新聞紙などで包んで金物・陶磁器・ガラス類で排出してください。

※在宅医療で発生した注射器や点滴セットは医療機関に返却するか、回収を行っている薬店・薬局に処理を依頼してください。

リチウムイオン電池 分別して火災防止！

ごみの収集作業中に火災が発生しました！！



令和6年5月、成田市内において、ごみの収集作業中にゴミ収集車で火災が発生しました。

左は収集車からごみを路上に排出し、作業員が地域の皆様と消火活動を行った後の写真です。



消防署により原因を調査中ですが、可燃ごみとして出されてしまった電化製品がゴミ収集車の回転盤で圧迫された際に、内蔵されているリチウムイオン電池に大きな衝撃が加わったことによって発火したものと推測されます。

今回は大きな事故に至りませんでしたが、このような事故が発生すると、収集車やごみ処理施設、周辺の住宅に被害が及ぶだけでなく、作業員や周囲の方の人命に関わる重大な事故につながる恐れがあります。

充電式の電化製品（リチウムイオン電池を含むもの）を処分する際は、リチウムイオン電池回収協力店に持ち込むか、黄色の金物・陶磁器・ガラス類の袋で集積所へ出す場合は、必ず電源が入らなくなるまで放電してからお出してください。

火災事故発生防止のためにも、みなさまのご協力をお願いいたします。

【成田市環境部クリーン推進課】
TEL：0476-20-1530